

# 個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	北部高等技術専門学校		所在地	津山市川崎953	
敷地面積	17,650.82 m <sup>2</sup>		棟数	14 棟 (計画記載対象 5 棟)	
延床面積	6,780.28 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	職業に必要な労働者の能力を開発し、向上させることを促進するため、職業能力開発促進法第16条第1項に基づき設置された公共職業能力開発施設				
【想定される自然災害】					
予想震度	5強	津波	—	浸水	—
建築規制	非線引都市計画区域、第1種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2019年度)	電気 105,822 kwh	ガス 9,583 m <sup>3</sup>	水道 1,821 m <sup>3</sup>	燃料(灯油) 3,439 0	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし				

## 1 施設内建物の概況

名称	本館・教室棟	教室旧棟	木工科等実習棟
築年(西暦)	1996年	1987年	1963年
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 一部木造 1階
建築面積	875.60 m <sup>2</sup>	177.50 m <sup>2</sup>	1313.60 m <sup>2</sup>
延床面積	3536.12 m <sup>2</sup>	355.00 m <sup>2</sup>	1313.60 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	事務所 1室 教室 16室 実習室 2室	教室 4室	実習場
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知機) 空調設備(吸収式冷温水発生器) 給排水設備 消火設備 昇降設備 電話交換機	消防設備(自動火災報知機) 空調設備	消火設備
利用状況	中	低	中
耐震性 ※1	有	有	無
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度: 13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化: 築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	電気設備科等実習棟	寄 宿 舎
築年(西暦)	1987 年	1969 年
構 造	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階
建築面積	678.40 m <sup>2</sup>	256.87 m <sup>2</sup>
延床面積	678.40 m <sup>2</sup>	367.09 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	実習場	食堂 居室 7室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知機) 消火設備	消防設備(自動火災報知機) 空調設備 給排水設備
利用状況	中	中
耐震性 ※1	有	無
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有: 耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度: 13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化: 築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

未耐震建築物の耐震補強を行うとともに、劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を行い、使用を継続する。  
寄宿舍については、劣化が著しく活用が困難なため、除却する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館・教室棟	電話設備の定期更新を実施する。
教室旧棟	予防保全を図る。
木工科等実習棟	耐震改修を実施する。耐震改修に当たっては、増築部は取り壊す。
電気設備科等実習棟	予防保全を図る。
寄宿舍	老朽化が進んでおり、今後利用見込みもないため取り壊す。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

- 1 耐震改修  
(木工科等実習棟) 2026年度 実施設計 2027年度以降 施工
- 2 設備等更新  
劣化が進んでいる設備等について、順次更新を行う。
- 3 除却  
(寄宿舍) 2027年度以降 除却

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館・教室棟	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)										電話 設備
教室旧棟	予防保全				予防保全を図る。						
木工科等 実習棟	耐震改修									基本 設計	実施 設計
電気設備科 等実習棟	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)									移設整備	
	予防保全				予防保全を図る。						
寄宿舍	用途廃止・除却										

### 4. 概算費用

総額7億円

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R7.1	・木工科等実習棟の耐震改修において、2025年の実施設計を基本設計に変更し、2026年の施工を実施設計に変更
R8.1	・電気設備科等実習棟の設備等の定期更新を追加(移設整備) ・寄宿舍の用途廃止・除却のスケジュール変更